

平成23年行政事業レビューシート

(金融庁)

| | | | | | | | |
|-------------------------------|---|-------|-------------------|--|---|---------|----------|
| 事業名 | 金融システム安定確保のための監督経費 | | 担当部局庁 | 監督局 | 作成責任者 | | |
| 事業開始・終了(予定)年度 | 平成12年度～ | | 担当課室 | 総務課 | 長谷川 靖 | | |
| 会計区分 | 一般会計 | | 施策名 | I-1-(1)金融機関を巡る状況の変化に対応した、効果的・効率的なオフサイト・モニタリングの実施 I-2-(1)預金等定額保護下における円滑な破綻処理のための態勢整備及びシステミックリスクの未然防止 | | | |
| 根拠法令(具体的な条項も記載) | - | | 関係する計画、通知等 | - | | | |
| 事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内) | ○金融機関の業務の健全かつ適切な運営を確保すること。 ○預金等定額保護下における円滑な破綻処理のための態勢整備及びシステミックリスクの未然防止が図られること。 | | | | | | |
| 事業概要(5行程度以内。別添可) | ○金融機関への効果的・効率的なオフサイト・モニタリングを実施するため、金融庁の業務を支援するシステムである金融庁統合モニタリング・分析システム(モニタリングシステム)の運用により、的確な金融監督を実施する。 ○金融機能強化法に基づき国の資本参加を行う場合においては、金融機関等が発行する優先株式等の商品性審査のため、フィナンシャル・アドバイザー(FA)業務を外部専門家に委託する。 | | | | | | |
| 実施方法 | <input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他 | | | | | | |
| 予算額・執行額(単位:百万円) | | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度要求 | |
| | 予算の状況 | 当初予算 | 334 | 450 | 367 | 350 | 310 |
| | | 補正予算 | 195 | ▲ 31 | ▲ 32 | 0 | |
| | | 繰越し等 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 計 | 529 | 419 | 335 | 350 | 310 |
| | 執行額 | 231 | 247 | 152 | | | |
| 執行率(%) | 43.7% | 58.9% | 45.4% | | | | |
| 成果目標及び成果実績(アウトカム) | 成果指標 | | 単位 | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 目標値(年度) |
| | 本事業の目的は、金融機関の業務の健全かつ適切な運営を確保すること及び預金等定額保護下における円滑な破綻処理のための態勢整備及びシステミックリスクの未然防止を図ることであり、定量的な目標を示すことは困難。 | | 成果実績 | | | | |
| 活動指標及び活動実績(アウトプット) | 活動指標 | | 単位 | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 23年度活動見込 |
| | 本事業の目的は、金融機関の業務の健全かつ適切な運営を確保すること及び預金等定額保護下における円滑な破綻処理のための態勢整備及びシステミックリスクの未然防止を図ることであり、定量的な指標を示すことは困難。 | | 活動実績(当初見込み) | | | () () | |
| 単位当たりコスト | - (円/) | | 算出根拠 | - | | | |
| 平成23・24年度予算内訳 | 費目 | | 23年度当初予算 | 24年度要求 | 主な増減理由 | | |
| | 情報処理業務庁費 | | 188 | 139 | 情報処理業務庁費について、「金融庁業務支援統合システム」へのシステム統合を25年1月に予定しており、統合後は関連経費を圧縮できることから、57百万円減額する。 | | |
| | 諸謝金 | | 161 | 171 | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| 計 | | 350 | 310 | | | | |

| 事業所管部局による点検 | | | |
|--|---|---|------|
| | 評価 | 項目 | 特記事項 |
| 目的・状況・予算の | ○ | 広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。 | |
| | ○ | 国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。 | |
| | ○ | 不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。 | |
| 資金の流れ、使途・費目・ | ○ | 支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。 | |
| | — | 単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。 | |
| | — | 受益者との負担関係は妥当であるか。 | |
| | ○ | 資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。 | |
| 活動実績、成果実績 | ○ | 他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。 | |
| | ○ | 適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。 | |
| | ○ | 活動実績は見込みに見合ったものであるか。 | |
| | — | 類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 | |
| | ○ | 整備された施設や成果物は十分に活用されているか。 | |
| 点検結果 | <p>○平成22年度の予算と実績を比較すると多額の不用が生じている。これは、金融機能強化法に基づく資本増強等に係るFA業務について、22年度は該当案件がなかったためである。</p> <p>○モニタリングシステム関係経費については、引き続き効果的・効率的なオフサイト・モニタリングを実施するため、予算を確保する必要がある。 なお、本システムは25年1月に「金融庁業務支援統合システム」への統合を予定している。</p> <p>○FA業務については、公的資本の商品性の複雑さや、委託先となるFA側の体制等によって大きく異なり得る一方、強化法に基づく資本参加の申請期限(29年3月末)までは、資本参加の申請が多数なされた場合や大規模なFA業務委託が必要となった場合にも対応できる体制を整えておくため、予算確保は必要である。 一方、これまでの入札状況を踏まえれば、金融機能強化法に関連するFA謝金の額を見直すことができるのではないかと。</p> | | |
| 予算監視・効率化チームの所見 | | | |
| 一部改善 | | <p>○モニタリングシステムは、25年1月に「金融庁業務支援統合システム(3局システム)」へ統合することに伴い、統合後の3局システムについては、「業務・システム最適化計画」に基づき運用の効率化を図るべきではないかと。</p> <p>○FA謝金については、これまでの契約実績等を踏まえ、経費の見直しを行いつつ、十分な体制を整えておくことが必要。</p> | |
| 上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等) | | | |
| <p>○モニタリングシステム関係経費については、25年1月に「金融庁業務支援統合システム(3局システム)」へ統合する。3局システムについては、「業務・システム最適化計画」に基づき、運用経費をできる限り減額するとともに、効率的に業務支援を行うことができるよう、開発を進める。</p> <p>○金融機能強化法に関連するFA謝金について、単価を見直すことにより経費を減額する。 【24年度要求額 50,000千円(対前年度比: ▲52,375千円)】 一方、東日本大震災の影響により、被災地域の地域金融機関から資本注入の申請があることも想定されるため、その分については、「東日本大震災からの復旧・復興対策に係る経費」として別途要求する。 【「東日本大震災からの復旧・復興対策に係る経費」:80,000千円】</p> | | | |
| 補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載) | | | |
| | | | |

金融庁
152百万円

金融機関の業務の健全かつ適切な運営を確保する。
預金等定額保護下における円滑な破綻処理のための態勢整備及びシス
テムリスクの未然防止を図る。

《パーゼルII対応システム関係委託》

【一般競争入札・委託】

A. (株)富士通マーケティング
8百万円

パーゼルIIの国内実施に伴う承認審査に対
応したシステム(パーゼルII対応システム)の
運用・保守等を実施

《モニタリングシステム関係委託》

【一般競争入札・委託】 3先: 80百万円
【随意契約(公募)・委託】 3先: 30百万円
【随意契約(少額)・委託】 1先: 0百万円
【国庫債務負担行為・委託】 3先: 32百万円

B. (株)日立情報システムズ
6先: 144百万円

効果的・効率的なオフサイト・モニタリング
の実施のため、報告・分析の対象となる情
報の処理を迅速かつ効率的に行う金融庁
統合モニタリング・分析システム(モニタリ
ングシステム)の開発(変更開発を含む)、保
守等を実施

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

| A(株)富士通マーケティング | | | | | |
|----------------|---|--------------|----|-----|--------------|
| 費目 | 使 途 | 金 額 (百万円) | 費目 | 使 途 | 金 額 (百万円) |
| SAS設定(プログラム)変更 | 金融機関から提出された分析データの検証を行うプログラムの作成・更新に要する費用 | 3 | | | |
| SASライセンス更新費用 | 分析ソフト(SAS)のライセンスの更新に要する費用 | 2 | | | |
| 運用サービス(SE) | 各種対応に要する費用(利用者変更、監査、障害、停電) | 1 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 計 | | 8 | 計 | | 0 |
| B.(株)日立情報システムズ | | | | | |
| 費目 | 使 途 | 金 額 (百万円) | 費目 | 使 途 | 金 額 (百万円) |
| 人件費 | 保守作業に係るSEの人件費 | 61 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 計 | | 61 | 計 | | 0 |
| 費目 | 使 途 | 金 額 (百万円) | 費目 | 使 途 | 金 額 (百万円) |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 計 | | 0 | 計 | | 0 |
| 費目 | 使 途 | 金 額 (百万円) | 費目 | 使 途 | 金 額 (百万円) |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 計 | | 0 | 計 | | 0 |

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.(株)富士通マーケティング

| | 支出先 | 業務概要 | 支出額 (百万円) | 入札者数 | 落札率 |
|----|---------------|--|--------------|------|------|
| 1 | (株)富士通マーケティング | 金融庁バーゼルⅡ検証システムに係る運用支援及びハードウェア・ソフトウェア保守業務 | 8 | 1 | -(※) |
| 2 | | | | | |
| 3 | | | | | |
| 4 | | | | | |
| 5 | | | | | |
| 6 | | | | | |
| 7 | | | | | |
| 8 | | | | | |
| 9 | | | | | |
| 10 | | | | | |

※入札時の予定価格が類推できないよう、予定価格及び落札率を公表していない。

B.(株)日立情報システムズ

| | 支出先 | 業務概要 | 支出額 (百万円) | 入札者数 | 落札率 |
|----|----------------|-------------------------------------|--------------|------|----------|
| 1 | (株)日立情報システムズ | 金融庁統合モニタリング・分析システムの運用支援及び保守(個別運用支援) | 62 | 3 | -(※) |
| 2 | 昭和リース(株) | 金融庁統合モニタリング・分析システムに係る機器等の調達 | 33 | | 国庫債務負担行為 |
| 3 | (株)ライトウェル | 金融庁統合モニタリング・分析システムのシステム監視業務 | 15 | 4 | -(※) |
| 4 | (株)日立情報システムズ | 金融庁統合モニタリング・分析システムの変更開発 | 14 | | 随意契約 |
| 5 | (株)日立情報システムズ | 金融庁統合モニタリング・分析システムの変更開発 | 13 | | 随意契約 |
| 6 | 日本ユニシス(株) | 金融庁統合モニタリング・分析システムの運用支援サポート | 4 | | 随意契約 |
| 7 | (株)フォーカスシステムズ | 期間損益ベースシミュレーションツール変更開発 | 3 | 4 | -(※) |
| 8 | (株)富士通ビジネスシステム | 統合モニタリング・分析システム用運用端末の調達 | 0 | | 随意契約 |
| 9 | | | | | |
| 10 | | | | | |

※入札時の予定価格が類推できないよう、予定価格及び落札率を公表していない。